



武中の風

校訓

「自主」「協同」「永続」「健康」

学校便り令和8年3月号

鹿児島市立武中学校

母親の如く

校長 坂中 裕一

3月11日本校の卒業式が行われました。前日までの準備において、今回卒業する生徒の入学時からつい最近までの写真を所狭しと掲示している1人の職員がいました。卒業式前日までは、教室前の廊下に、そして卒業式当日は場所を移し、会場の体育館後方に掲示されていました。それぞれの写真は、保護者が持ち帰り可能なように1枚1枚丁寧にラミネートがされており、記念に長く保管できるよう施してありました。かなりの時間を要する作業です。私は生徒の三年間の成長が手に取るように分かるこれらの写真にじっと見入ってしまいました。それと同時に、この職員が1人黙々と写真を掲示する姿に職員のもつ「思い」について考えさせられました。この職員は、一年から三年までこの学年をもち上がりました。生徒の変容にいち早く気付くとともに、生徒情報にも詳しく、生徒の話をとことん聞き、時には生徒の話に涙し、ある時は毅然と生徒を指導していました。真正面から生徒と向き合ってきた職員です。このような姿が武中学校を支えているのだと思います。聞いてみないと分かりませんが、その「思い」とは我が子が自分の元を去って行く前の母親の心情だったのでしょうか。改めて、卒業していった三年生が素晴らしい学年であったと思うと同時に、愛情深い職員に囲まれていたのだと思いました。

担任業務を離れて20年。卒業式はもちろん、各種学校行事において生徒との触れ合いは少なくなり、保護者の方とお話をする機会もなくなりました。担任業務は多忙を極めますが、その代わりとして生徒が親兄弟のように話し掛けてくれます。このような関係に懐かしさを感じるこの頃ですが、卒業証書授与時に「おめでとう」と声を掛けた返しに、にっこりと笑い、頷いてくれた生徒が多くいました。改めて生徒たちの純真な心の内を見た気がしたとともに、生徒との距離が近くなったことに嬉しさも覚えました。



ここで、卒業式の式辞を掲載します。

春の訪れを感じるこの良き日に、鹿児島市立武中学校第79回卒業式をこのように盛大に挙げていくことを心より感謝申し上げます。ただいま卒業証書を授与した三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

私が初めて武中学校の正門を潜った日、美しい桜を見ながら、私の長い教職人生のゴールは武中学校だったのかとしみじみ感じました。また、最後に教え導く生徒が皆さんであることに縁を感じました。そして、緊張して臨んだ新任式は、目の前にいる皆さんを愛おしいと思えた瞬間でもありました。

当初、始業式の挨拶に予定はありませんでしたが、「武中の生徒、職員、そして保護者の方々には『私の家族』です。」という言葉が自然と出てきました。「家族」は守りたいと思うもの。「守りたい」という感情が私の中に強く沸き上がってきたのだと思います。

翌朝から、根性坂下横断歩道の整理中に、努めて皆さんに「おはよう」と声をかけました。皆さんといち早く人間関係を築きたいと考えたからです。当初は、「どんな校長なのだろう」と覗いていたのでしょうか。声

を發せず、私の顔だけをじっと見て通り過ぎる生徒が多くいました。しかし、今では三年生が一番挨拶をしてくれます。私は嬉しく思っています。ありがとう。鶴岡第二中学校との盟約50周年記念式典では、武中学校の生徒の素晴らしさを内外に示すことができました。誇りに思います。三年生の皆さん、これまで本当にありがとう。感謝に堪えません。

さて、皆さんが迎える将来について話をします。この話は皆さんが受ける中学校最後の授業となります。よく聞いてください。国が懸念している人口減少・少子高齢化は、国の想定を大きく上回るペースで進んでいます。具体的には25年後に、約一億人まで人口が減少し、経済活動の中核となる働き手の人口比率は約5割まで落ち込むと予想されています。そのため、現在の人口を維持し、これまでのような経済活動を展開していくには、年間75万人の外国人が必要とされています。皆さんが社会の中心となって活躍する頃には、組織の中に必ず外国の方がいるはずで、多くの会社が英語で会議を行う時代はそう遠くはないでしょう。国際化の波は他人事ではないことを自覚してください。

次に、社会の変化が激しい現代では、企業の寿命が短くなりつつあると言われています。1980年に企業の寿命は36年と言われていましたが、2025年、企業の寿命は18年弱と言われるようになりました。また、日本では2007年に生まれた子どもは、50パーセントの確率で107歳まで生きると言われています。皆さんは2010年、11年生まれではないでしょうか。このことは何を意味しているのでしょうか。

まず、働く期間が長くなるということです。そして、企業の寿命が短くなることで、同じ仕事に長く携わることができなくなる可能性があります。これから先は、「新たな仕事に就くために学び、そして働く」というサイクルを繰り返さなければなりません。今以上に、教える者がいなくても自ら学ぶ経験と習慣、そしてコミュニケーション力が大切になります。また、チャッピーの愛称で知られる「チャットGPT」の能力が凄まじく、今年度の大学入学共通テストでは9科目で満点、15科目での得点率が96.9パーセントであったと報道されました。凄まじい速度で進化する生成AIですが、この生成AIが得意なこと、人間が得意なことを棲み分けて、使いこなしていかなければなりません。日本のデジタル競争力は世界第32位。今後、デジタルスキルの高い外国の方々とは働かなければならないことを考えると日常的にICTを活用し、スキルアップを図ることが必要です。

さて、卒業生の皆さん、今日のこの日を境に二度と会えなくなる友達もいるでしょう。私もそうです。縁あって出会った皆さんですが、二度と会うことのない生徒もいると思います。別れとはそういうものです。ぜひこの後、お互いに連絡をとる方法を確認しあい、次に会う機会を話し合ってみてください。そして、桜島から錦江湾、鹿児島市内と、唯一無二の景観をもつ、教室からの眺めを目に焼き付けて、多感な時期を過ごした思い出深い武中学校を後にしてください。

保護者の皆様、本日は、お子様方のご卒業、誠におめでとうございます。子育てはワンチャンス、後戻りのできない営みです。感性豊かな中学時代の子育ては、さぞ試行錯誤の連続であったと思います。しかしながら、私はこの一年、保護者の方々が注がれてきた愛情を生徒たちから感じてきました。それに応えるために、教師と保護者が相互理解を図りながら共に育ちを見守ること、生徒の育ちを待つ姿勢を大切にすること、そして、生徒の僅かな変化に気づき賞賛することを学校経営の柱としてきました。ここにいる三年生は私たち職員の期待に見事に応え、武中学校の伝統と新しい風を内外に示してくれたと思っています。武中学校のすべての職員が卒業生の前途に幸あらんことを願っています。

ご来賓の皆様、本日は本校の卒業式にご列席いただき、誠にありがとうございます。ここにいる卒業生は、一心に中学校生活を駆け抜け、先人たちが築いてきた伝統を守り、新たな風を送り込んでくれました。これから先も、この武中学校が一層繁栄の道を歩めるよう、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に改めてこの卒業生が、生涯を幸せに過ごしていけるよう願うとともに、卒業生をここまで立派に育て上げてくれた職員の皆様に感謝を申し上げ、私の式辞といたします。

4月の行事

8日	新任式・始業式	14日	2年歯科検診
9日	入学式(午後) 1年PTA	15日	1年身体計測 避難訓練
10日	2、3年PTA 3年身体計測	21日	3年歯科検診
13日	新入生歓迎会 部活動紹介 2年身体測定	22, 23日	全国学力学習状況調査
		27日	PTA総会 部活動保護者会

お知らせ

始業式、入学式について

鹿児島市の学校管理規則の改定により学年始めの休業日が次のように制定されました。

学年始休業日：4月1日から同月7日

※第1学年の児童生徒は入学式の前日まで

この改定により、県内統一して小・中学校の**始業式は4月8日、入学式が4月9日**に実施されます。